

読売

# 教育ネットワーク

社会はまるごと学校——  
すべての大人が先生です



葛西臨海水族園のスタッフの協力のもと、参加者にトビハゼの巣穴を説明する市立市川自然博物館の金子学芸員（4・5面へ）

巻頭特集 魅力いっぱい 本との出会い

第5回 高校ビブリオバトル開幕 2・3

東京湾の干潟が育む夏 4・5

大学でキャリア講座が好評 明治学院大・明治大 6・7

都内の5チームが「株の力」の成果発表 9

学校×企業 千葉・富里市×NECネットエスアイ 8 リレーエッセー 米ノースウェスタン大学 10

2018.7

Vol.43

# 魅力 いっぱい 本との 出会い

直木賞作家 辻村深月さん × 第1回大会優勝 中村朱里さん

## 第5回 高校ビブリオバトル開幕

高校生のお勧め本ナンバーワンを決める「第5回全国高等学校ビブリオバトル」が開幕した。決勝大会の出場権をかけて12月まで各地の予選大会が続く。ビブリオバトルの魅力について、高校生バトラーに人気のある直木賞作家・辻村深月さんと、第1回大会の優勝者・中村朱里さんが、紹介される立場、紹介する立場から語り合った。



中村朱里  
なかむら・あかり 第1回全国高校ビブリオバトル優勝。早稲田大学3年

「中村さんが紹介してチャンプ本に輝いたのは、辻村さんの『冷たい校舎の時は止まる』(講談社)でした。」

辻村 自宅にいたら、突然、版元や他の出版社の編集者から『冷たい校舎』優勝しましたよ!とメールが来たんです。「絶妙なプレゼンでした」と、みんなが書いてくるんだけど何のことか分からなかったんです。愛読書の魅力をアピールする書評の大会があると知って、びっくりしつつ、とてもうれしかった。栄えある初代チャンプ本にしてくれてありがとう。中村 辻村さんの本を読みふけていた中学生の頃の自分に、ビブリオの大会に出たら、本人に会えることになったんだよって教えたんです。一冊の本と出会ったことで、いろんな経験をさせてもらっています。

「執筆に追われる中、辻村さんは各地の大会にゲストとして呼ばれていますね。」

辻村 中村さんがチャンプ本にしてくれたおかげで、2016年の決勝大会にゲストで呼んでいただいたんです。鹿児島県の予選会にもゲストで行きました。

中村 目の前で自分の本が紹介されるのはどんな気持ちですか。辻村 発表者に言葉を総動員して褒めてもらい、続きが気になるように魅力を語ってもらうのは名譽なことなんです。自分の本だけじゃなく、仲がいい作家や近々会う予定のある作家の作品が出てくると、「あなたの本が紹介されていたよ」と伝えたくなくなります。

「大会にゲストとして参加されていて何か気づいたことはありませんか。」

辻村 文化系の子たちがつながりあえる場ができたということですね。中学や高校の青春時代は、運動部などスポーツが得意な子どもたちには、試合を通じて絆を深められるような機会がこれまでなかった。

## 一冊の本から色々な経験 — 中村さん



辻村深月さん(左)と中村朱里さん(読売新聞東京本社で) = 秋山哲也撮影

## 文化系の生徒がつながりあえる場 — 辻村さん

くさんあった。ビブリオバトルは、文化系の子たちにもそうした場が開かれたことが素晴らしい。東京でも、鹿児島でも、同じ予選グループで発表しあった高校生たちが、短い時間で仲良くなっている様子を目の当たりにして感動しました。

中村 話す内容を考えていく過程で、紹介する本の魅力や登場人物のことを言葉にしてみると、自分はそのなことを感じながら読んでいたのかと気づかされることがあります。言葉にすることで、読んでいる時の自分の気持ちを追いかけていくような感覚があります。辻村 高校生の発表を聞いてると、「えっ、そこに心動かされるんだ」と驚くことが多いですね。年齢が近いせいか、登場人物を自分に引きつけて読んでくれていて、それぞれの言葉で共感を表現してくれる。



決勝大会出場一番乗りの大久保さん

## 第5回大会 代表一番乗りは大久保さん

地区大会の先陣を切って、神奈川県立神奈川近代文学館で開かれた。バトラー20人がそれぞれの本の魅力をスピーチ。聴衆による投票の結果、「お任せ!数学屋さん」(向井湘吾著)を紹介した県立横須賀高校2年の大久保光佑さん(16)が優勝した。「中学生が、どこにでもあるような悩みを数学の力で解決していく話。数学が好きな人はもちろん、得意でない人にもお薦めしたい」と紹介本の魅力をアピールした大久保さん。代表一番乗りを決め、自分の実力でなく作者のおかげ、名譽な賞をいただいたので、決勝でも頑張りたい」と意気込みを語った。

「今年1月の決勝大会では、辻村さんの『かがみの孤城』(ポプラ社)がファイナルに残りました。発表した高校生に対し、会場の高



辻村深月  
つじむら・ふみこ 1980年、山梨県生まれ。2004年、『冷たい校舎の時は止まる』(講談社)でメフィスト賞を受賞して文壇デビュー。12年、『鍵のない夢を見る』(文芸春秋)で直木賞。今年4月、『かがみの孤城』(ポプラ社)で本屋大賞を受賞した

校生から色々な質問が飛び出しました。その時の様子を聞いてください。(音声再生)

辻村 ああ、私が代わりに答えてあげたい(笑)。でも、すごく誠実に答えようとしてくれていて胸を打たれます。質疑応答の時間が設定されていることもすごくいいですね。登場人物のことを作者以上に理解し、自分のものにしてくれる読者がいて、その声をダイレクトに聞ける場があるのはうれしい。他の作家さんと同じだと思います。この大会はずっと続けてください。

## 筑波大 推薦入試に導入 情報学群知識情報・図書館学類

筑波大学(茨城県つくば市)の情報学群知識情報・図書館学類は、今秋の推薦入試からビブリオバトル方式の面接を導入する。「コミュニケーション能力を見るうえで、表現力や質問力、聞く力が問われる。ビブリオバトルが適していると判断した。」

受験生5人程度が3人の教員の前で、ビブリオバトルの公式ルールに沿い、5分間で自分が選んだ本を紹介しよう。その後、受験生同士で質疑応答を行う。教員は、受験生が5分間のプレゼンテーションで自分の考えをうまく伝えられるか、説得力のある説明ができるかに注目。質疑応答では、自分の持つ知識を組み合わせて質問できるか、他の受験生から出た質問の意図を的確に回答できるかを評価する。同じグループの受験生の投票で、どの本が一番読みたくなったかを決めるが、チャンプ本に選ばれたかどうかは、評価には影響しない。

同学類は昨秋まで個別面接を実施し、調査書や小論文と合わせて合否を決めてきた。面接では「図書館と電子化などのテーマを与え、意見を述べてもらった後、教員が質問する。近年は、受験生が高校で綿密な面接指導を受けてくるため、差がつきにくくなっていった。そのため、完成度の高いルールがあり、知らない本について即興的な対応が求められるビブリオバトルを導入することにしたという。」

同学類の募集定員100人中、推薦入試の募集は40人。情報、知識を有効活用するためのシステムづくりを学ぶ。歳森教授類長は「発言の機会をつかめず、実力を発揮できない可能性がある。あるグループディスカッションとは異なり、ビブリオバトルならば平等に発言の機会を確保できる。新方式導入で、他者に自分の考えを伝えることに積極的な『外向きの本好き』を呼び込みたい」と期待を込める。

## 第5回 全国高校ビブリオバトル

### 都道府県予選を経て決勝は来年1月

各地の予選は12月まで続く。県教委などが主催する県大会は、新たに高知、北海道などが加わり、35前後の都道府県で行われる見込み。活字文化推進会議が主催するブロック大会は仙台、東京、大阪、広島、の4都市で開催。決勝大会は2019年1月20日、東京都千代田区のみやうり大手町ホールで開かれる。

### 第5回 全国高校ビブリオバトル ブロック大会開催日程

大会名	日程	会場
仙台	8月26日	東北学院大学土樋キャンパス(仙台市)
東京	9月 9日	成蹊大学(東京都武蔵野市)
大阪	11月 4日	関西大学梅田キャンパス(大阪市)
広島	7月22日	県立広島大学広島キャンパス(広島市)

### 大学生地区大会 主催団体を募集

今年で9回目となる全国大学ビブリオバトルで、ビブリオバトル普及委員会が地区予選、地区決勝の主催団体を募集している。地区決勝でチャンプ本を獲得した36人が、12月23日に立命館大学大阪いばらきキャンパス(大阪府茨木市)で開催される「大阪決戦」への出場権を獲得する。詳細は「全国大学ビブリオバトル2018大阪決戦」のウェブサイトへ。

## ビブリオバトル ~21世紀活字文化プロジェクト



<https://katsuji.yomiuri.co.jp/>

参加方法、観戦方法などはウェブサイトを参照

■問い合わせ 活字文化推進会議事務局

☎03・3217・4302 (平日 10:00 ~ 17:00)

# 東京湾の干潟が 育む夏

写真・レポート 秋山哲也

繁殖期を迎えた準絶滅危惧種の魚トビハゼと、東日本にも生息域を広げるトラフグ。夏の東京湾最奥部では、残された干潟が、生命を育む貴重な役割を果たしている。

愛嬌ある表情に感激



干潟で見つけたトビハゼの巣穴

トビハゼ

千葉県市川市の江戸川放水路は、河口まで約3キロメートルの地点で江戸川から分岐する。その役割から大規模な埋め立て開発を免れ、特に最上流部は干潟の生き物たちの格好の生息場所となっている。ここで6月30日、葛西臨海水族園が主催し、地元市川市川自然博物館などの協力によって、親子向けの観察会「トビハゼの調査地をたずねる」が開催された。トビハゼはスズキ目ハゼ科の魚の仲間。体長10センチほど。皮膚呼吸もする。人の気配を察知すると、跳びはねながらヨシ原の中に逃げ込む姿が実にユーモラスだ。東京湾では谷津干潟や荒川河口などでも観察できるが、江戸川放水路に生息するトビハゼは、国内最北限のものとされる。「巣穴を踏まないように注意して、背を低くして観察しましょう。眼が頭の上にある、黒い影は捕食する敵とみなして非常に警戒します」。市川市川自然博物館の金子謙一学芸員は、観察のコツを話した。



(上) トビハゼのいる干潟を歩く参加者 (下) 繁殖期を迎え、雌(左)を巣穴へ誘う雄のトビハゼ (上) トビハゼを見つけた原田君 (下) 潮が引いて、ヨシ原の向こうに現れた江戸川放水路の干潟

## 江戸川放水路

大正時代、江戸川から約3kmが治水のために開削された人工の水路。最上流には昭和32年、首都圏の生活用水などを確保するため行徳可動堰が完成した。そのため洪水時以外は河川水が流れ込まず、東京湾からの海水が満ち干を繰り返す。堰の付近にはトビハゼの生息に適した泥質干潟も形成された。



## トラフグ幼魚50匹捕獲

江戸川放水路から南西に約8キロメートル。同じく貴重な干潟が残る葛西臨海水族園の西なぎさでは6月14日、葛西臨海水族園による地引き網調査が行われた。同園では生息する魚の経年変化を記録するため、1999年から定期的な魚類調査を行っている。

その調査で捕獲された多種の魚たちの中で、ふぐの最高級種とされるトラフグの幼魚が、今年は約50匹も捕獲された。2014年6月の調査で初めて捕獲され、2016年以降は3年連続で網にかかった。九州や三河地方では冬の味覚として有名なトラフグだが、東京湾内で生まれ、そこを成育の場としている可能性が年々高まっている。干潟はここでも重要な役割を果たしている。



千葉県木更津市の盤洲干潟(小幡川河口)で見つけたクシテガニ

調査の地引き網にかかった体長2センチほどのトラフグの幼魚



トラフグ



網からバケツに出すとピンポン球のようにふくれたトラフグ

魚類の繁殖や成長を担う干潟の力を感ずる夏。江戸川放水路や葛西の浜に足を運んでみてはいかがだろうか。

## 葛西海浜公園(西なぎさ)

2つの人工干潟(東なぎさ・西なぎさ)から成り、天然の干潟(三枚洲)へ続く。東なぎさは鳥類保護のため立ち入りが禁止されている。

## 東京湾の干潟

経済成長に伴う大規模な埋め立て開発で、その9割以上が消失したなか、千葉県は三番瀬や盤洲干潟、富津干潟などには手つかずの干潟も残る。富津干潟には「海のゆりかご」アマモ場が広がる。横浜市金沢区の野島海岸や、平潟湾(同市金沢区、横須賀市)にも貴重な干潟が残された。

就活準備を手ほどき文化放送CPと協力

「時事問題集よりも、世の中で起きていることが自分にとって関わってくるのか、意識しながら新聞を読んでいる」と呼びかけた。「全部の記事を読まなくてもいい。見出しや前文、最初の段落に注

目して読んでいこう」と、コツを伝授した。学生たちは熱心にメモを取り、「新聞を紙で読むメリッとは何か」「学生時代に何をやっておくべきか」と活発に質問した。

「読み方を学べた」国際日本学部1年の女子学生(18)は「自分が興味のあるところだけでなく、大事な情報をどうやって取ればよいか、読み方が学べてよかった。普段は一面のコラムや4コマ漫画くらいしか読まないのでもっと読んでいきたい」と話していた。

明治大学では7月4日、就職情報会社「文化放送キャリアパートナーズ(文化放送CP)」(東京都港区)と協力し、「ブンナビ×読売新聞就職・キャリアセミナー」を1、2年生が学ぶ和泉キャンパス(東京都杉並区)で、無料で開催。学生約40人が参加した。



吉山事務局次長の指導で読売新聞に目を通す学生たち

明治大

大学で展開 キャリア講座が好評

「仕事とは何か」「どう働いたらよいか」——教育ネットワーク事務局では、大学1~3年生を主な対象に、キャリアデザインを支援する授業を展開している。明治学院大学(東京都港区)では企業人らを講師に招いた授業を実施。明治大学(東京都千代田区)でも、将来の就職活動をにらんだ課外講座を開いた。いずれも本紙朝刊を教材として活用し、学生たちが新聞に親しみ、社会や経済を見る目を養うことを目指している。

明治学院大



三井住友銀行の若手行員と話を交わす学生たち

明治学院大での授業は共通科目「ライフデザイン3」。白金キャンパスにある法、経済、社会、心理、文の5学部の3年生ら約90人が、今年4~7月の火曜日に受講した。

履修すると2単位を取得できる正規の授業。夏休みに始まるインターンシップの前に、授業を通じて、働くことについての学生たちの意識を高めることを狙った。

同大は今春、法学部で2011~2017年度に開講されていた「読売キャリア形成講座」を発展的に解消し、共通科目として再設置すること。これを機に、授業にアクティブ・ラーニングの手法を取り入れ、内容を全面刷新することにした。

また、就職情報会社「リクルートキャリア」(東京都中央区)に協力を仰ぎ、同社の社員が就職準備の進め方などを計4回講義した。

グループワークを多用

読売新聞社が担当した13回の授業のうち、目玉に位置づけたのは、ビジネスの第一線で働く企業人らを招き、各業界について理解を深める計6回の「しごと研究」だ。読売教育ネットワークに参加し、学校への出前授業で実績があるセブンイレブン・ジャパン(流通)、野村総合研究所(IT)、日本航空(運輸)、三井住友銀行(金融)、国際協力機構(国際・公共)と読売新聞社(マスコミ)が講師を派遣した。講師料は大学からの業務委託費で賄った。

新聞の活用にも力を入れた。毎回、授業の冒頭で当日の読売新聞朝刊を配り、事務局の岡島毅専門委員が気になるニュースや毎週火曜日掲載の「就活ON!」のページを解説。さらに、翌週の授業に関連する本紙記事を2、3点配り、事前に読んでくるよう指導した。

原則として90分の授業のうち、約半分をグループワークにあてた。講師は「デジタル技術を使って社会課題を解決するビジネスプランを考えよう」(野村総研)、「お客様を満足させるサービスや視点を考えよう」(日本航空)などの課題を提示。学生たちは3、4人のグループに分かれ

学生が答えたアンケートでは、授業への満足度は5段階評価(評点1~5点)で、4.29点。「様々な企業の人から話を聞くことができて、働く自分が少しイメージできた」(法・女子)、「知り合いでない学生とのグループワークは刺激的だった」(心理・女子)、「新聞を読むことの大切さが学べた」(経済・男子)などの感想が寄せられた。

事務局では、これらの意見を参考に内容・方法の改善を図るとともに、他大学にも同様の授業を広げていく方針だ。

事務局では、これらの意見を参考に内容・方法の改善を図るとともに、他大学にも同様の授業を広げていく方針だ。

就職情報会社とコラボ

読売新聞東京本社は2017年から、就活関連分野で文化放送CPと協業を進めている。今年7月6日には、両社共催で「大学と企業情報交換会」を東京本社内で開き、全国各地の約60大学のキャリア支援センター関係者や、約40社の採用担当者ら約100人が集まった。

文化放送CPの平野恵子・主任研究員は、19年



情報交換会で松本専門委員の講演に聞き入る参加者たち

春卒業予定の学生を対象とした就職戦線について中間報告。事務局の松本美奈専門委員は、11年間続けてきた「大学の實力」調査の結果や学生の現状を紹介。大学と企業が協力して、学生の「書く力」を伸ばすよう訴えた。

両社は昨年、学生向けに「インターンシップフェア」も共催。事務局の記者らが講演などを行っている。次回は9月17日に東京・品川で開かれる予定だ。同社が運営する新卒就職サイト「ブンナビ」では、約8000社の会社情報が検索でき、学生約15万人が登録。同サイトからヨミウリオンライン(YOL)上の「就活ON!」の記事が読めるようになっている。

また、読売新聞東京本社は、リクルートキャリアが昨年始めた大学1、2年生向けのウェブサイト「リクナビC」にコンテンツ面で協力。学生たちが就活に入る前に、社会を知る面白さに気づいてもらおうと、本紙やYOLに掲載された様々な記事の中から毎週1本を選び、同サイトに無料で提供している。

企業人ら招き業界研究

て議論し、意見をまとめて発表した。三井住友銀行からは若手行員10人が来て、座談会形式で学生からの質問に率直に答えていた。

毎回冒頭で記事解説

また、就職情報会社「リクルートキャリア」(東京都中央区)に協力を仰ぎ、同社の社員が就職準備の進め方などを計4回講義した。

# 南極の自然や生活に興味津々

この日の講師の金城良尚(44)さんは2009年から11年にかけて1年2か月にわたり南極に滞在した。当時の写真などをふんだんに映写しながら、南極の自然や気候、隊員の生活、生息する動物などについて話した。クイズを交えた



南極から持ち帰った防寒着を身に着ける子どもたち。左は講師の金城さん

派遣している。「南極くらぶ」は南極での越冬を経験したNECネットエスアイ社の社員が講師を務める。同社は携帯電話の基地局やアンテナの設置・保守が業務の一つ。南極の昭和基地で通信や観測のための設備を保守するために、毎年社員を

実際に南極で使った防寒着を着用する体験もした6年生の宅見師玄さん(11)は、「アデリーペンギンの匂いの話など、行ってみたいと分からないと思った。いろんなことを知ることができて楽しかった」と話していた。

地域の小学生を対象にした「とみっこ大学」が6月30日、千葉県富里市の中央公民館で開講され、入学式とNECネットエスアイ社による授業「南極くらぶ」が行われた。「とみっこ大学」は、小学生に様々な体験活動を通じて、知的好奇心を引き出し、学ぶ意欲を高めようと、同市教育委員会が主催する連続学習講座で、今年度で2回目となる。

子どもが興味を持つきっかけになればと、この活動をしている金城さんは、南極の生活を踏まえて、小学生たちに「目標を持って学ぼう、思いやりを持って、元気でたくましく」と授業の最後に呼びかけた。

千葉・富里市

×NECネットエスアイ

## 読売新聞、ジャパン・ニュースの記事

## 139校で216件出題

2018年度大学入試で、読売新聞と読売新聞の英字紙  
ジャパン・ニュースの記事が、139校(計216件)で取り上げられた。  
読売新聞と学研プラスが調査した。(2018年7月10日現在)

冊子は、東日本の高校を中心に全国の高校に配布しています



読売新聞とジャパン・ニュースの記事から出題したのは、熊本大学や三重大学、福島大学、首都大学東京、埼玉県立大学などの国公立大のほか、東京理科大学、青山学院大学、日本大学、法政大学、同志社大学、南山大学などの私立大。

### 小論文、英語、国語など

科目別では、小論文が90件、次いで英語が75件、国語が37件、その他14件だった。小論文での出題が多い学部は、医・歯・薬・看護・保健系学部と教育学部。英語での引用が目立つのは、工・理・情報系学部と家政・芸術・生活・体育系学部だった。

記事種別では、連載やコラムが46件、次いで日々のニュースを扱った一般記事(解説など含む)40件、社説が29件だった。取り上げられた一般記事では、長時間労働や待機児童、学力の問題、人工知能(AI)のほか、昨年に引き続き18歳選挙権や18歳成人などのテーマが目立った。受験生の社会事象に対する関心や意見を述べる小論文で特に取り上げられることが多かった。

2018年度大学入試の出題調査結果と分析をまとめた冊子「大学受験は新聞から!」を発行しました。冊子では、小論文・面接対策にもつながる授業での新聞活用法「新聞でQuestion」を紹介しています。これは、新聞を読んで質問を考え、その答えを自ら探すグループワーク。この活動を繰り返すことで、メディアリテラシーやポイントを捉える力やコミュニケーション能力、自分で考える力が身につくといわれています。

**冊子差し上げます** 希望者は①～③を同封の上、郵送ください。

- ①郵便番号、住所、氏名を書いた紙片(あて先として封筒に貼ります)
  - ②冊数(1人3冊まで)、電話番号を書いた紙、③送料分の切手(1～2冊140円分、3冊は205円分)
- 【宛先】〒100-8055(住所不要)

読売新聞東京本社 教育ネットワーク事務局「大学受験は新聞から」係

### 身近な内容の記事から

取り上げられた記事も、学部の系統に近いテーマの記事が目立った。教育学部では、学力調査や障害者の教育といった話題が多かった。法・経済・社会福祉系学部では、自転車活用推進法や都心の大学規制、熊本地震復興、移民受け入れなど法律や経済、社会に関する記事が目立った。人文・国際系学部で

は、出生数やヘルプマークなど世間で注目されているテーマやSNS、中等教育における英語の現状など高校生にとって身近な内容の記事が引用されていた。医・歯・薬・看護・保健系学部は、医療的ケア児や終末期医療、高齢者の自動車の運転、介護といった最近注目されている医療や福祉に関するものが中心に選ばれていた。

出題大学の一覧は、読売教育ネットワークのウェブサイトでも順次公開しています <http://kyoiku.yomiuri.co.jp/torikumi/nyushi.php>

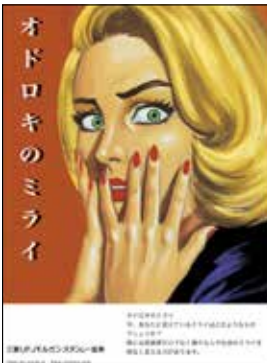
このインターシッピングの様子は10月に、読売中高生新聞に掲載されます。



広尾学園高校 (オムライス)



かえつ有明中学・高校 (AHK)



広尾学園高校 (この犬がかわいい)



最後におそろいのTシャツを着て記念撮影をする発表者ら



自分たちで作った広告を手に発表する豊島岡女子学園中学の2人

# 金融経済教育プログラム 「株の力」の成果発表

都内の5チーム 三菱UFJモルガン・スタンレー証券本社で

三菱UFJモルガン・スタンレー証券の金融経済教育プログラム「株の力」に参加した高校生が、その成果を発表するプレゼンテーションが7月27日、東京・大手町の同社本社で行われた。

## 思い思いの広告「コピー」

月にインターシッピングに参加した東京都内の中学高校から選ばれた5チームが参加。同社役員3人を含む約60人にインターシッピングの成果を披露した。

## 話し合い重ねて広告作り

「世界を塗り替えたい」のキャッチコピーを付けた。「中高校生に縁がないと思っていたが、株で世界を変えられる」「株を通して異文化を理解できる」と意図を説明した。

「株の力」は5回シリーズの授業で株や金融の知識を学び、その成果を新聞広告の形にまとめるというユニークなもの。各校で高評価を得たチームが同社役員らの前で発表を行っている。作品は読売中高生新聞にも掲載される予定だ。今回は、今年5月〜7

トップで発表した豊島岡女子学園中学(豊島区)3年のチーム「Redies」が作った広告のキャッチコピーは「株は、ねじだ」。チーム代表の2人は、ねじを回さないと動かないオルゴールを例に、「株は儲けを得るためだけのものではなく、企業の成長の源ともなり、不可欠なものだ」という意味を込めた」と説明した。

驚いた女性のイラストが目玉を引く新聞広告を作った広尾学園高校のチーム「この犬がかわいい」は、「広告を作る段階で、意見が分かれ、話し合いを重ねたことが楽しかった」と感想を話した。

広尾学園高校(港区)1年のチーム「オムライス」は、10代から30代の人に目が留まるようにと、スマホと株を結びつけた広告を見せ、「手のひらから未来設計を始めませんか」と呼びかけた。

最後の聖学院高校(北区)のチーム「5班」は、自作の大きな名札を首にかけて発表。二人三脚の写真をメインビジュアルに使い、会社と投資家の「どちらが欠けても成り立たない」関係を示した。

かえつ有明中学・高校(江東区)のチーム「AHK」は、株をペンキに見た立て、「株

発表を聞いた三菱UFJ証券ホールディングスの長岡孝取締役会長は「皆さんのプレゼンは新鮮だった。より良い社会・経済の実現に向け皆様が金融へ興味を持って頂ければ有難い」と話した。

海外で学ぶ・リレーエッセー ④③

## 米ノースウェスタン大学

## 「ANDはわれらのDNAにあり」

東京学芸大学附属国際中等教育学校(東京都)卒、ノースウェスタン大学(米国)1年(執筆時)

鈴木 出帆 さん

これがノースウェスタン大学のスローガンの一つだ。卓越した大学 AND 全米大学体育協会のトップ校 AND 生き生きとした大学 AND AND 最先端の学問 AND、などなど。このスローガンを入学案内のサイトで見ても、まさに自分にぴったり

の学校だ、と思った。これまでずっとコンピューター科学に関心を持ち続け、コンピューター科学の学位をとろうとノースウェスタンにやってきた。だが、教育など他の分野への興味もある。ノースウェスタン入学は「コンピューター科学 AND 別の何か」を捜し求めるいい機会となった。

マコミック工學院の学生たちは、日々、右脳左脳双方持ち合わせたエンジニアたれ、と言

考察、コミュニケーション」のクラスである。工学部学生向けのグループ形式のクラスで、それぞれのグループには一人の顧客があり、右脳を使って顧客の問題を解決し、左脳で計算を行い、最終的に試作品作成を目指すのだ。このクラスのおかげで批判的思考と拡散的思考双方の重要性を理解できた。

工学部では、他の専攻よりも融通の利かない科目になりがちで、学生たちも大学生活の社会的側面を忘れがちだ。だが、ノースウェスタンでは新入生と上級生混在の(ピア・アドバイジング・グループと呼ばれる)小グループを編成することで支

援してくれている。2週に1度集まり、他のメンバーの活動を頭

的な機会と居心地のいい共同体がある。ぴったりの選択だったと信じている。コンピューター科学の知見を深め、「右脳左脳双方持ち合わせたエンジニア」になりたい、と考えている。

(会報編集部抄訳「The Japan News 2018年3月15日」)



## ノースウェスタン大学

1851年創立の、米イリノイ州シカゴ郊外エバンストンにある名門私立大。神経科学、ナノテクノロジー分野の研究で知られる。卒業生にはノーベル文学賞受賞の作家ソール・ペロウ、映画「ベン・ハー」でアカデミー賞主演男優賞を受賞したチャールトン・ヘストンら。



ピア・アドバイジング・グループの学友たちと(左端)＝本人提供

海外留学を目指す高校生に進学支援を行っているNPO法人「留学フェロシップ」のメンバーが、海外のキャンパスライフをリレー連載します。留学フェロシップの詳細はウェブサイトへ。<http://ryu-fellow.org>